

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	森に親しむ野外講座 県内第四回		
タイトル	清澄寺から筒森の見本林へ		
実施日時	平成31年2月19日(火) 8時~16時45分		
実施場所	鴨川市		
受講者	会員28名	FIC会員	6名

活動の内容

朝からどんよりとした曇り空でしたが、安房小湊の海岸沿いの道に入ると、空が明るくなってきて、これなら雨に降られずに済むのではないかと、皆さんの声も一気にはずんできました。清澄寺では、もう少しゆっくり参拝をしてという気持ちもありましたが、雨が降り出す前という思いから、すぐに散策を開始しました。関東ふれあいの道、地元では「悟りの道」として親しまれている山並みの道です。下見を実行した際には、まだまだ冬芽が固く開花を期待する状況ではなかったことから、散策のみどころとして、「照葉樹林の森を歩く」という趣向として、魏志倭人伝に記載されている1700年前の倭の国の原風景、その中でてくる、「タブノキ・クスノキ・カヤ・カシ類の樹木の鬱蒼とした森を歩きましょう」という趣向をバス車中で説明しました。いざ散策開始してみると、まず目についたのがヤマルリソウです。一気に期待が膨らみ、他にどんな花が見られるのか、皆の足取りが軽くなりました。ミヤマシキミ・アセビ・コショウノキの花に出会うことができました。ツルアリドオシの可憐な実がひっそりついていました。

昼食は、コース中間地点のアジサイ寺の境内を利用させていただきました。ちよど和尚様がおられて、急遽アジサイ寺の由来、アジサイ植栽の苦労話などを解説していただきました。

昼食後、少しずつ雲行が怪しくなり、後半は急ぎ足となりました。ゴールは親水広場です。広場の手前から、溪流沿いの道に降りていきました。3年前に「夏美のホタル」という映画が公開されましたが、そのロケが行われた場所です。「虹の岬の喫茶店」と同じ作家の作品を映画化したものです。生きる意味を模索していた若者が、豊かな自然の中で生活し、元気を取り戻すというストーリーですが、川回しの現場でもあり、房総半島の豊かな自然に身をおいてリフレッシュすることができました。何とか雨にあわずに、全員無事で楽しい散策ができた1日でした。

